

TPDS NEWS



※ TPDS = Tokyo Plastic Dental Society = (一社) 東京形成歯科研究会

Vol.90

配信日：2025 年 6 月 9 日

配信元：(一社) 東京形成歯科研究会 事務局

ISBB(国際血液・幹細胞臨床応用会議)

“ 日本・台湾合同講演会レポート ”

会員 西山 晃司 先生



※円山ホテルにて前夜祭後に Professor Chen-Yao Su 先生（国立陽明大学）と撮影、台湾の美食に舌鼓をうった。



※台北医科大学の学生も多く参加した。学生にレクチャーする奥寺先生。

去る 6/7、ISBB の国際交流を兼ねた合同講演会が行われた。台湾と日本の PRP の臨床応用に関する発表を行い意見を交換したので報告する。

台湾は奥寺施設長の旧友も多く、日本との共通点も多いため終始和やかな雰囲気で行われた。

台湾は、東京から飛行機でたった 3～4 時間。ひとたび降り立てば、日本のような安心感と、活気あるアジアの空気が交差するととても楽しい国だった。

日本と台湾の関係は、戦前の統治時代から始まり、当時のインフラや教育の影響は今も色濃く残っており、台湾の人々が日本語を話せたり、日本文化に親しんでくれているのもその一つ。年配の方と話すと流暢な日本語が返ってくることもあり驚いた。

また台湾の食は、日本人の舌にもとても合う。ルーローハン（魯肉飯）やダンピン（蛋餅）、タピオカミルクティーなどはすでに日本でもおなじみだが、本場の味はやはり格別であった。中華料理をベースに日本人の舌にも合う繊細な味付けで滞在中はつつい食べ過ぎてしまうため注意が必要だった。

なにより台湾の人たちは本当に親切でとても過ごしやすい滞在だった。福島県出身の私としては、東日本大震災のときに 200 億円を超える支援もあり、終始日本に寄り添ってくれた姿は忘れることができない。

～講演会内容～

Clinical Applications of Blood Therapies

日時: 2025 年 6 月 7 日

場所: 台湾、TMU（台北医科大学）の Hu Shui-Wang 会議室

西山→Occlusal Management After Implant Placement

PRP で造成した骨に埋入したインプラントを長期的に機能させるための咬合付与について説明。

増木先生、奥寺先生→Current Status and Clinical Applications of PRP in Japan

PRP の臨床応用の現状を紹介。

日本における PRP の使用状況とその効果について説明。骨の少ないケースに造成し、審美回復と咬合再建を果たした様々なケースを示した。

Dr.Chin wei.wang 先生（台北医科大学歯周科）→Next-Generation PRP Application: Regenerative Therapy for Peri-implantitis and Major Bone Augmentation

PRP プロトコルの進化と新しい応用について。

L-PRF の使用が軟組織の創傷治癒において重要であることを強調。

重度のインプラント周囲炎や骨の増強に関する再建ケースを示した。

台湾の先生にはインプラント周囲炎に対するリカバリー症例を中心に発表して頂いた。

重度のインプラント周囲炎の治療に果敢にアプローチしている姿勢が印象的だった。

奥寺先生、増木先生はさすがの貴族で様々な臨床ケースを提示し、台湾の先生方も興味深く聴講していたように思う。

私も初めての国際発表でとても緊張したが、汗だけで何とか発表を終えた。

若手に様々なチャンスと経験を与えてくれる東京形成歯科研究会、改めて良い会だなあと思った 4 日間であった。東京形成の先生方、今後ともご指導お願いします…。